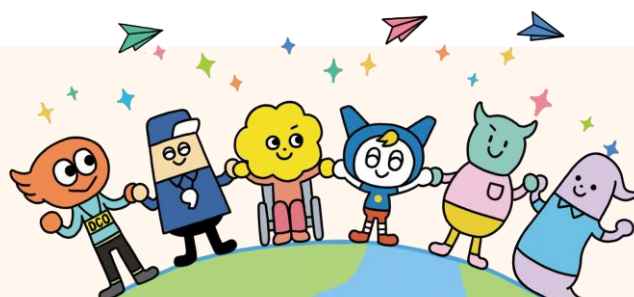


ユースアスリート向けクリーンスポーツセッション Educator用 解説書

1 ユースアスリートに「クリーンスポーツ教育」を行う理由

皆さまが指導しているユースやタレントアスリートは、将来、日本や世界のスポーツ界をけん引する可能性を秘めています。ユースやタレントアスリートがスポーツで重要な役割を担う将来に向けて、自ら「スポーツの重要性」と「スポーツを通じてどのように成長したいのか」という深い問いを日々考え、その答えを言葉や行動で示すことは、アスリートとして極めて重要です。

「クリーンスポーツ教育プログラム」では、専門的な知識を有する人のサポートを適切に求め、自身で正しい判断をし、自分自身を守るための準備をすることや、世界の舞台で活躍し、日本のスポーツ界でトップに立つために、どのようにスポーツと向き合い、創造していくべきかを指導することも重要です。ユースやタレントアスリートたちが、スポーツから学んだことを日常生活や他の分野にも応用し、総合的な成長を遂げられるように、彼らの成長のサポートを行ってください。



スポーツに対する自らの感情を認識する

スポーツの価値を理解し、根幹にあるルールを守る重要性に気づく

アンチ・ドーピングルールの軸となる権利と義務の概念を理解する

権利と義務と紐づくルールを認識する

クリーンスポーツの実現のための具体的な行動を理解する

自らのスポーツに対する感情の変化を実感する

アスリートとして求められるマインドの素地をつくる

2 国際基準で求められる教育内容

2021年に「教育に関する国際基準（ISE）」が発効され、スポーツの価値を基盤としたアンチ・ドーピング教育の枠組みが国際基準で定められました。

ISEでは、アスリートおよびそのサポートスタッフがスポーツのルールとして理解すべきアンチ・ドーピングに関する知識のみならず、スポーツの価値やインテグリティに基づく**11トピックス**の教育が要請されています。

本セッションスライドでは、それらの11トピックスを7つのカテゴリーに区分しています。アスリートの権利や責務を認識し、理解を深め、学習者自身が正しい情報に基づき適切に意思決定・行動できるような教育目標が設定されています。

※7つのカテゴリーは、『クリーンスポーツ・アスリートサイト（<https://www.realchampion.jp/>）』や『クリーンアスリートガイド』と共通です。セッションの実施にあたり、より詳しい情報の参照や、学習者の復習にご活用ください。また、トピックスの10についてはユースと直接関わりのない項目であるため、本スライドでは省略されています。

11トピックスにもとづく7つのカテゴリー



※ユース・タレントアスリートでは扱わない

◆ 教育の相乗効果を高める本スライドと各マテリアルとの連動性 ◆



3 スライドの活用方法：セッション実施までの4つの手順

その1 スライドの使用申請

本スライドの使用をご希望の方は、以下を確認の上、右記のページから申請フォームに進みご申請ください。



承認Educator用スライド

<https://www.realchampion.jp/resources/000238.html>

- ✓ 使用の2週間前までにご申請ください。申請内容をJADAにて確認した後、セッションでお使いいただけるスライドデータ・配布資料データをメールで送付します。
- ✓ 本スライドはスポーツ庁委託事業の一環として制作しており、申請いただいた内容が本スライドの教育ターゲット（対象者）と合致しない場合、スライドデータの提供をお断りすることがあります。
- ✓ 最新のルールや情報にもとづきセッションを実施できるよう、本スライド及び本解説書は、定期的に更新されます。常に最新版をご使用ください。
- ✓ 申請内容とは別のセッションで本スライドを使用される場合は、必ず、再度フォームからの申請をお願いします。

その2 スライドに基づくセッション実施に向けた準備

<ノート欄>

セッションを行う際に、Educatorが教育ターゲットや教育目的に応じて適切なスライドを使用し、正確な理解をもとにスライドの内容を説明できるよう、スライドごとに、「ねらい」や「セッション進行のポイント」、「発問・アクティビティ例」を記載してあります。双方向性のあるセッション実施の一助としてください。

ノート欄のアイコン一覧



<ねらい>

各スライドにおける
学習者の学習到達目標



<セッション進行のポイント>

スライドの記載内容の補足や
セッションでの強調ポイント



<発問・アクティビティ例>

学習者に、考える起点を与える
ための発問やアクティビティ例



<参考情報・事例>

- ・資料のダウンロード先
- ・セッションで活用できる教材

<ワークシート>

セッションの内容について、学習者の理解がより深まるよう、スライドと連動した、ワークシートも併せてご活用ください。スライドの中で発問した内容を踏まえ、学習者が回答したりワークを行うアクティブラーニングのツールとして、また、学習者の学びの振り返りや次のアクションにつなげることを目的にご活用ください。



その3

「クリーンスポーツ・アスリートサイト」と セッションスライドを連動させて詳細を確認

本スライドは、「クリーンスポーツ・アスリートサイト」と「クリーンアスリートガイド」に基づき構成しております。

スライドと各マテリアルとの連動は、以下の表を参照し、セッションの学習者に応じた教育目標に応じて、ワークシートを活用した発問やアクティビティを実施ください。

本スライドの構成は1回のセッションでスライド全てを説明することは想定していません。

教育目標やセッションの時間に応じて、使用するトピックスやスライドを選択し使用ください。

スライド 番号	スライド内容	所要 時間 (目安)	セッションの設計における留意点
◆ 導入			
P1～P3	◆ ストーリーを用いて、スポーツに対する自身の感情を理解する	15分	-
◆ クリーンスポーツのために必要なルールを学ぶ			
P4～P14 	◆ スポーツの価値とクリーンスポーツの意義について考える ◆ アンチ・ドーピングについて知る	30分	P11 にて、アクティビティペーパータワーを用いて、異なるルールではスポーツが成立しないことを体感する。 ペーパータワーのアクティビティを行わない場合には、ペーパータワーのスライド P10 以降の内容で発問を行う。
P17～P33 	◆ クリーンスポーツを実現するための権利の義務について認識する ◆ 権利と義務の関わりについて理解する。	30分	P16～31 の権利と義務の対比については、セッションで取り扱う内容に合わせて扱う項目を絞る。 それに応じて、 P18～19 のワークについても、取り扱う権利と義務を絞る。
P34～P35 	◆ アンチ・ドーピング規則違反の存在について認識する	10分	-
P36～P39 	◆ ドーピングが自身や周囲に及ぼす影響について理解する ◆ 違反の有無や制裁措置が決定するまでの手続きを知る	10分	セッションの目的に応じて、ユースガイド PPT (P25～P30) の事例をもとに考えるワークを行い、具体的な事例に落とし込んで理解させる。
P40～P54 	◆ 自身の体を健康でクリーンに保つ必要を理解する ◆ 病院や薬局での正しい行動を理解する ◆ サプリメントのリスクを知る	20分	-
P55～P59 	◆ ドーピング検査の意義と概要を理解する ◆ ドーピング検査時のアスリートの権利を理解する ◆ 未成年アスリート特有の行すべき項目について理解する	10分	-
P60～P68 	◆ クリーンスポーツを守るための手段とアスリートの権利を知る	10分	P63～68 のワークについては、学習者の属性やレベルに応じて行う内容を精査する。
P69～P70	◆ サポートスタッフがユースアスリートに対してできることを考える	10分	P69～70 については、サポートスタッフ参加の有無によって利用を判断する。
◆ まとめ			
P74～P75	◆ 真のチャンピオンとなるために、自身で大切だと思う項目を整理する。	10分	-

合計155分

その4 フィードバックの実施

本スライドを活用してセッションを実施した際には、学習者にフィードバックシートへの入力と、Educatorのリフレクションシートへの入力を必ず実施いただきますようお願いいたします。

学習者に対し、ワークシートおよびスライド最終ページで提示しているフィードバックシートより回答するよう、セッション終了時にご案内ください。

フィードバックシートへの入力内容は、Educatorへ共有させていただきます。

※個人情報とは、学習者の所属先である競技団体及びスポーツ関連団体（日本スポーツ振興センター、日本オリンピック委員会、日本パラスポーツ協会、日本スポーツ協会等）に対し、学習者の氏名や受講履歴などの情報を提供すること、クリーンスポーツ教育推進の目的にのみ当機構が利用します。

▼ 学習者向け



フィードバックシートはこちらから
回答項目：セッション内容に対する学びの振り返り、到達度、Educatorに対する評価、質問など

<https://forms.office.com/r/e5km5zEAPe>

▼ Educator向け



リフレクションシートはこちらから
回答項目：Educator情報、セッション内容（設計、実践）に対する省察など

<https://forms.office.com/r/qnV1nyHxnB>

Educatorとしての役割

◆ クリーンでフェアなスポーツを推進するEducatorの心構え

Educatorは、スポーツの価値を通して、未来の社会を創ることに貢献できる人材を育成し、クリーンでフェアなスポーツを通じたよりよいスポーツ、そして社会づくりを担うキーパーソンです。

クリーンスポーツセッションやワークショップでの「対面教育」は、教育ターゲット（アスリート、サポートスタッフなど）が、知識の獲得のみならず、知識を基に自らが行動に移すための方策や、他者との意見交換を通じて、考え方や価値観を深める・広げることができるといった人間性を向上するための重要な学びの場となります。学習者の思考力や判断力を育てていくためにも、Educatorと学習者間での活動を含めた双方向性を意識し、アクティブラーニングをできるだけ取り入れ、学習者が学習意欲を高めることができる対面教育を実践しましょう。

◆ 学習者へ最新で正しい情報を伝えていただくため、セッション実施前には、必ず使用するスライドに関連する＜参考資料・事例＞をご確認ください。

◆ 不明な点や学習者からの質問で回答できないものがあれば、JADAにご確認ください。

◆ よくあるご質問とその回答については、以下よりご確認ください。

<https://www.playtruejapan.org/faq/>

◆ JADAへのフィードバック

日本・世界でのクリーンスポーツ環境を推進・発展するため、本スライドの活用を通してお気づきの点や、学習者の方々から出たご意見などを、リフレクションシート入力時にご共有ください。教育ツールの質の向上に役立てさせていただきます。

※お送りいただいたご意見等に関しまして、JADAから個別にご返信しない場合もございます。

日々のご協力も含めまして、この場をお借りして御礼申し上げます。

注意事項

- 本スライドは、世界アンチ・ドーピング規程に基づくクリーンでフェアなスポーツの促進を目的に制作したもので、世界アンチ・ドーピング規程を定義したり法的拘束力を持つものではありません。
- 本スライドのデータの改変や転載・転用は固く禁じます。これらに含まれる一切の著作権等は、公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構（JADA）に帰属します。